

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/04/24号

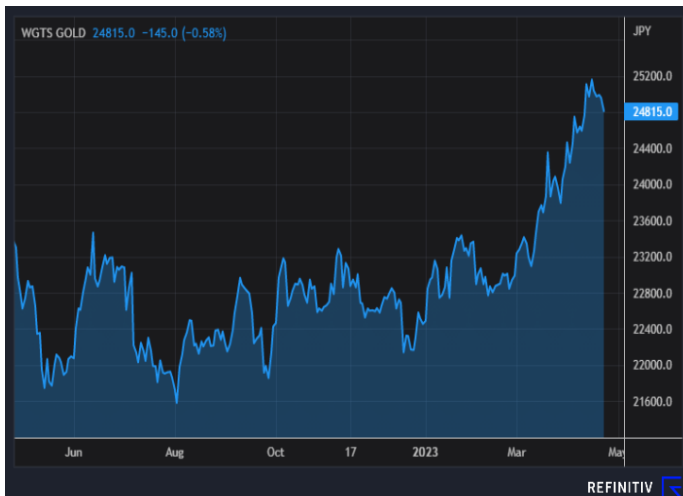
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ゴールドようやく修正局面か？

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ずっと上昇してきたゴールドですが、ようやくその上昇にストップがかかりました。5月のFOMC前のblackout periodに入る直前に相次いで理事たちからの金利上げはlonger and higherという発言が出てそれがドル買い、ゴールド売りにつながり先週は2000ドルを挟んでの動きとなりました。しかし2000ドル割れでは執拗な買いが入り、ゴールドは完全には下げ切らないという動きでした。3月上旬からの一方的な200ドルの上昇の動きを考えれば、ようやくマーケットにコレクションの動きが出てきたことで逆にようやく健康的なマーケットになるのではないかと思います。2000ドル以下で執拗に買っているのはおそらく中央銀行ではないかと考えます。WGCの発表によると年初から2月末までの期間で125トンものゴールドを中央銀行は買っており、これは去年の1136トンの買いの勢いがそのまま続いており、この期間では過去最大の買いとなっています。ゴールドの鉱山生産が年間3600トン。そのほぼ3分の1を中央銀行が吸収していることを考えると、この相場修正局面が終わるとふたたびゴールドはじわじわと上がる展開となるのでしょうか。去年は一年を通してその残高が減少していたゴールドETFも今年に入り残高が増加に転じ、ゴールドへの資金流入は中央銀行だけではなく、機関投資家や個人投資家もその買い手に転じているというのがわかります。今週はQ1 GDPとPCEが発表となりますが、これらの数字は5月のFOMCにも影響を与える可能性があるだけに短期的には重要な指標になると思います。ただ長期的にはやはり、不況の恐れによるFRBの金利の打ち止め、そして年後半にかけての金利下げの可能性は大きいと考え、やはりゴールドは2100ドルへと今年後半にかけては上昇していくのではないのでしょうか。円建てゴールドの高値は先々週につけた8714円であり、現在は8550円台と修正局面ですが、近い将来ふたたび歴史的な高値を更新すると思います。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

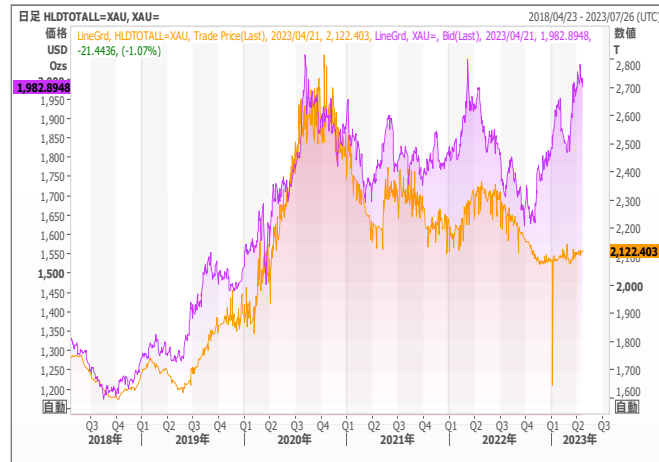
金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「プラチナが上昇」

これから南半球は冬に入り電力需要のピークを迎えます。もっとも電力需要が多くなるのが6月から8月。4月是最も電力需要が少ない月です。ジェットロによると一般的な発電所の寿命が50年とされる中、南アの各発電所の平均稼働期間がもはや45年になっており、電力需要に対して現在4,000~6,000MW分が不足しているということです。今後、経年劣化が進むと発電能力が落ち、供給量はさらに落ち込むとの見方が有力です。需要に見合った電力供給が実現するには最低でも2年かかると推定、現在は計画停電がこれまでの最も厳しいステージ6に至ることがしばしばあり、これらの現状をみる限り、これからピークを迎える南アの電力需要は、プラチナの生産にも大きな影響を与えることが予想されます。南アのプラチナ生産の28%（1.2moz =約37トン）は1000m以上の深度の鉱山から採掘されています。深い鉱山では空調やポンプによる水の汲みだし等、より多くの電力を必要とし、計画停電下での操業は困難になります。2008年3月にプラチナが2200ドルを超えて歴史的な高値を付けたときの価格急騰のきっかけは年初からの二週間にわたる停電がそのきっかけでした。

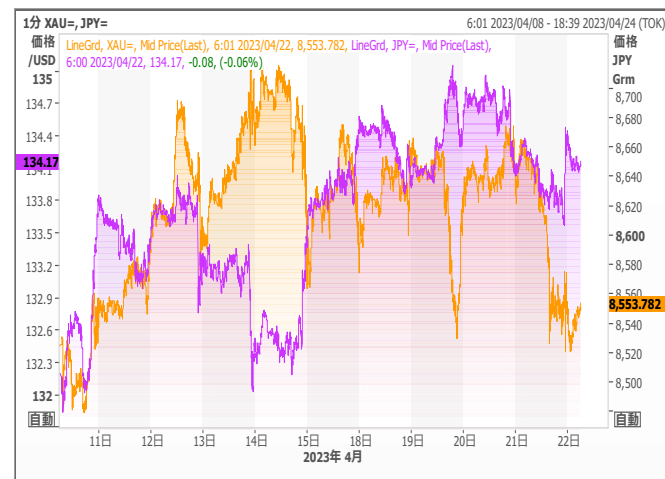
（プラチナの値動き）



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

